

会 社 名 株式会社カノークス

代表者名 代表取締役社長 小河 正直
(コード番号：8076 東証スタンダード、名証メイン)

問合せ先 取締役執行役員管理本部長 花田 寛之
(TEL. 052-564-3511)

当社グループは、2025年度～2027年度の3ヵ年を対象とする「第11次中期経営計画」を策定し、2025年7月29日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

以上

第11次中期経営計画（2025～2027年度）

2025年7月29日

株式会社カノクス

A large red triangle graphic in the bottom right corner, containing a white triangle pointing towards the center.

目次

- ▶ 前中期経営計画の振り返り
- ▶ 長期経営ビジョン
- ▶ 第11次中期経営計画

-
- ▶ 前中期経営計画の振り返り
 - ▶ 長期経営ビジョン
 - ▶ 第11次中期経営計画

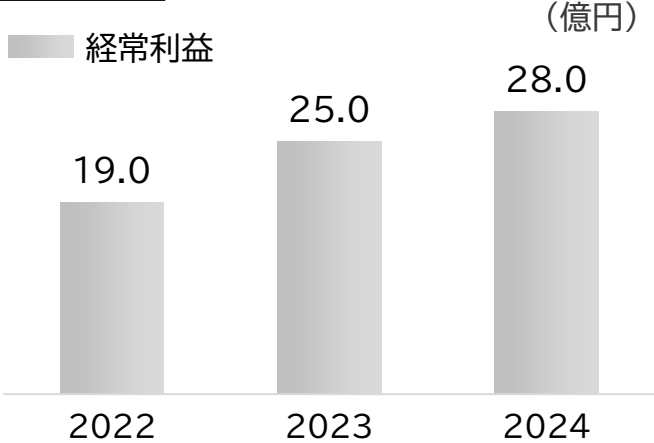
第10次中期経営計画（2022～2024年度）



〔 第10次中期経営計画 〕

テーマ：カノークスの第二の創業 ～ 持続的成長に向けて再起動 ～

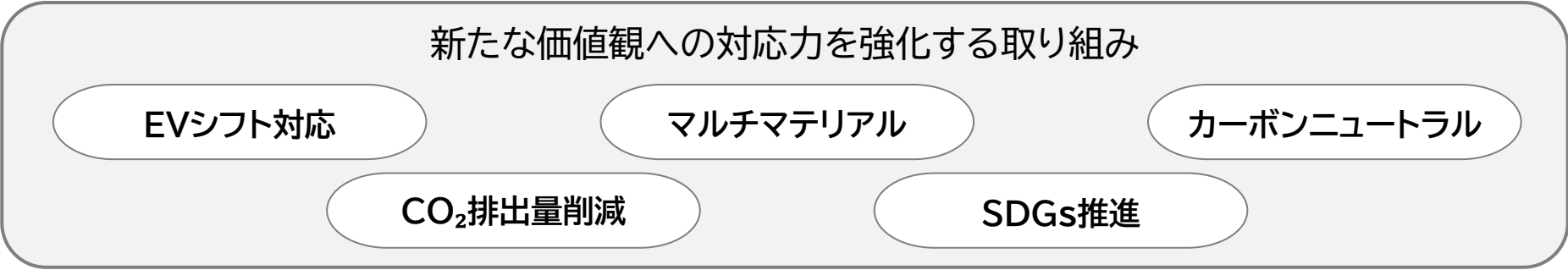
① 業績（目標）



② 経営指標（目標）

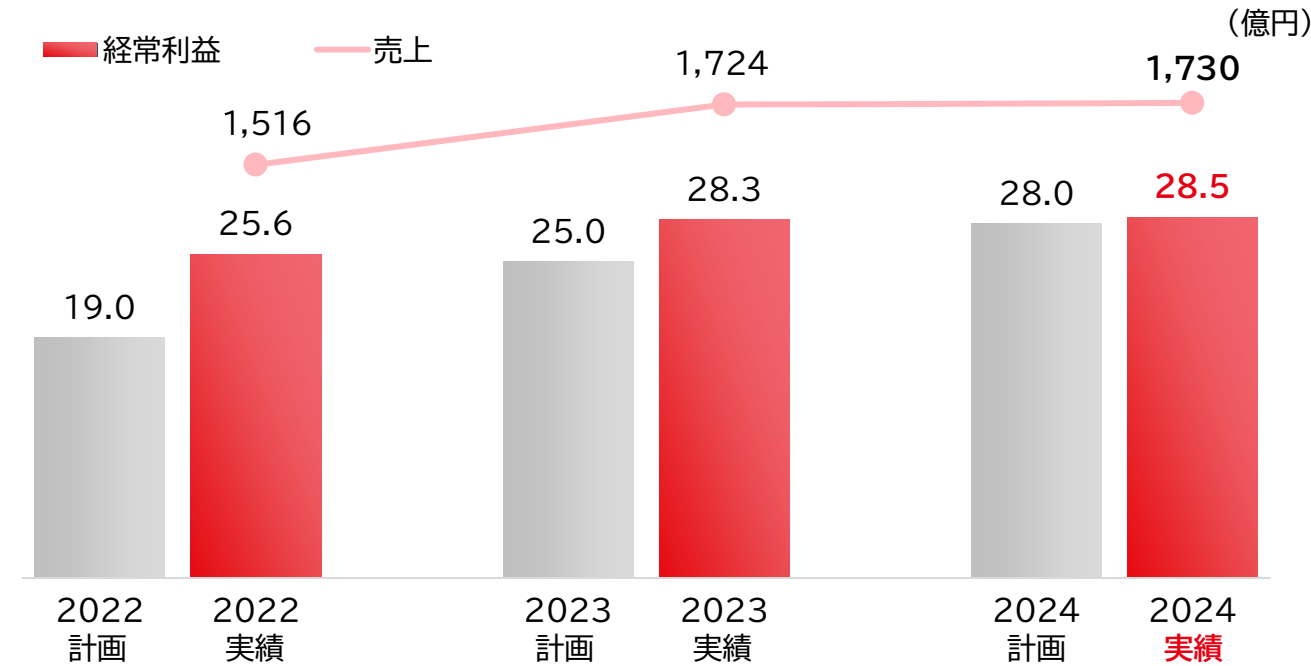
	2021実績	2024目標
ROE	7.3%	8～10%
ROIC	3.2%	5%
D/Eレシオ	1.1倍	1.0倍
配当性向	41.5%	50%水準

③ 重点施策



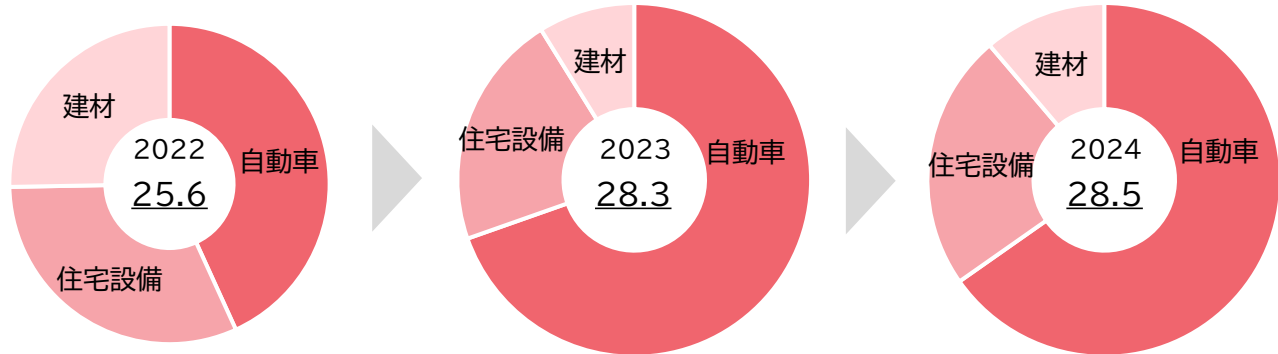
① 業績

[業績推移]



- 2022年度：自動車メーカーの減産長期化や、中小建築物件需要の減少影響を受けるも、鋼材価格上昇によるスプレッド獲得により、業績目標をクリア。
- 2023年度：物価上昇により諸コスト上昇の影響を受けるも、国内自動車メーカーの生産回復が収益を下支えし、業績目標をクリア。
- 2024年度：自動車メーカー認証不正問題による減産や建築需要低迷が続くも、諸コスト上昇分の価格転嫁を着実に進め、業績目標をクリア。

(部門別内訳)



- 中計期間の全年度にて経常利益目標をクリア。2023、2024年度の2年連続で過去最高益を更新。

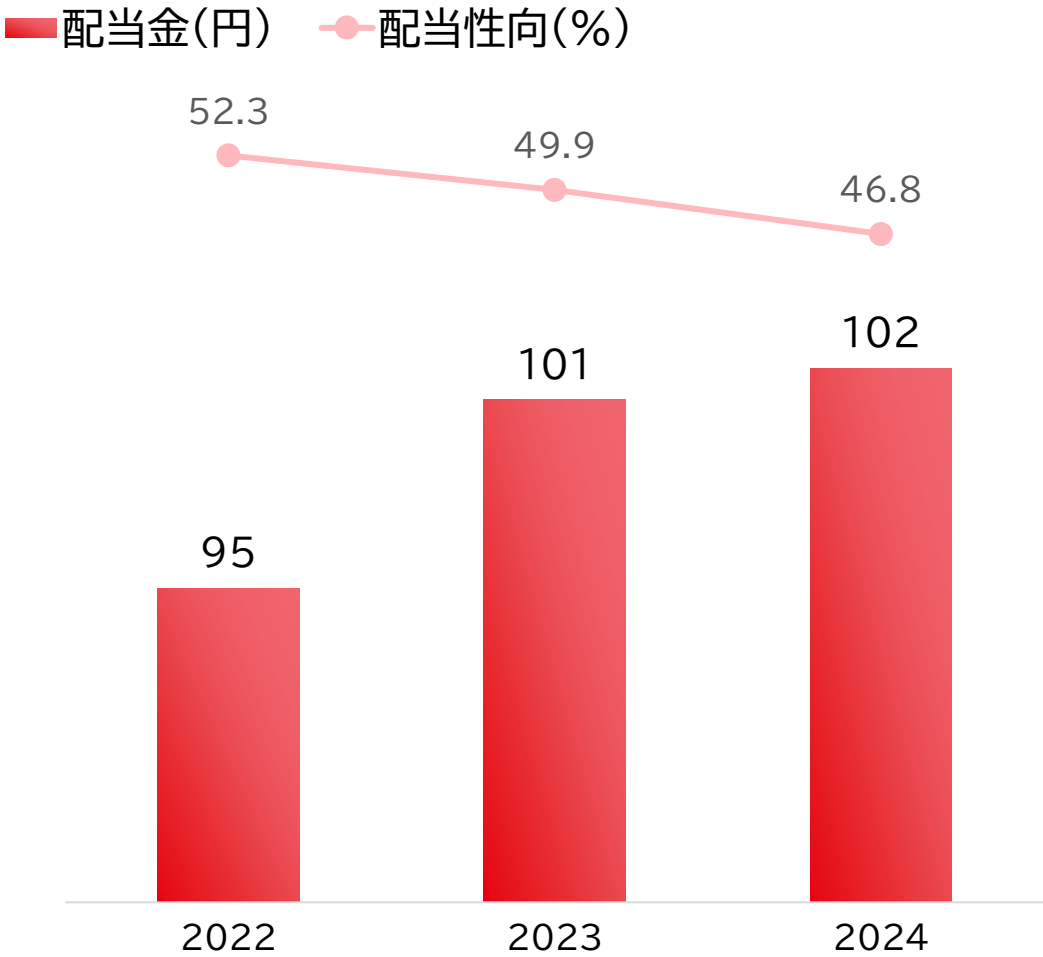
② 経営指標



〔 各種指標推移 〕

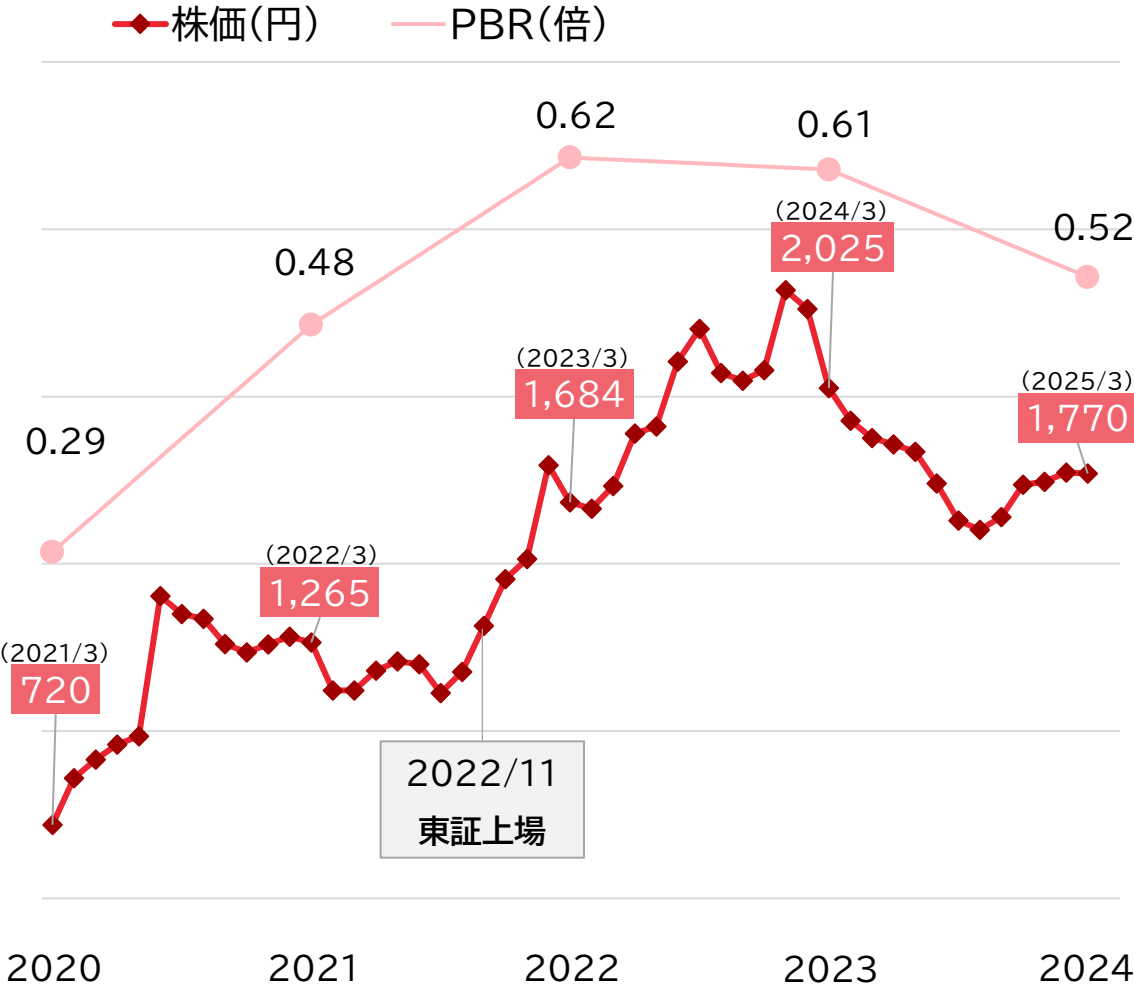
	目標	実績		
	2024	2022	2023	2024
経常利益	28.0億円	25.6億円	28.3億円	28.5億円
ROE	8～10%	6.8%	7.0%	6.5%
ROIC	5%程度	2.8%	2.7%	2.7%
D/Eレシオ	1.0倍	1.3倍	1.1倍	1.0倍
配当性向	50%水準	52.3%	49.9%	46.8%

〔 配当金・配当性向 〕



② 経営指標

[株価・PBR推移]



(東証上場)

- 2022年11月 東証スタンダード市場上場



③ 重点施策

〔 EVシフト対応・マルチマテリアル・カーボンニュートラル 〕

テーマ	KPI	目標	実績		
		2024	2022	2023	2024
① EVシフト対応	BEV受注比率	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%
② マルチマテリアル	鉄/MM比率	1.0%	0.02%	0.01%	0.17%
③ カーボンニュートラル	電炉材比率	8.0%	6.0%	4.8%	3.6%

- ① EVシフト対応

製造領域の組み替えが進む自動車部品メーカーに対し、新規立上がり車種の受注活動を推進。新規BEV部品受注の増加により中計目標をクリア。
- ② マルチマテリアル

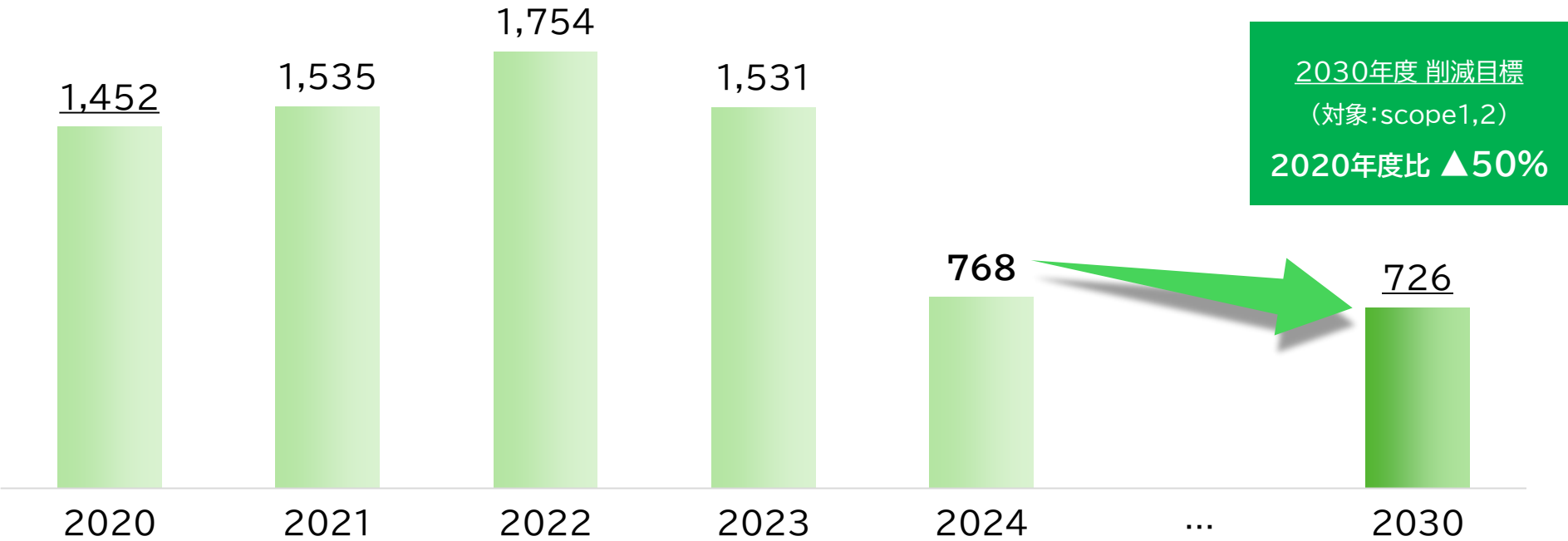
既存ユーザーへの材料ニーズの掘り起こしを中心に取り組むが、安定受注まで至らず。事業領域拡大に向け、M&Aによる新規参入や人材の獲得を検討。
- ③ カーボンニュートラル

市況品種を中心とした拡販活動を実施するも、中計目標は未達となる。今後はユーザー需要を視野に入れた活動を強化しながら、取扱数量増加を目指す。

③ 重点施策

〔 CO₂排出量削減 〕

(t-CO_2)



- CO₂フリー電力を2023年10月より各事業拠点で導入開始。
- ハイブリッド車・電気自動車へ社用車を順次切替え、燃料由来のCO₂排出量を削減。
- 2020年度比50%削減目標に対し、2024年度で47%の削減を達成。

更なる削減に向け、輸送事業における「軽油」使用量への効果的な取組みが課題となる。

③ 重点施策

[SDGs推進]

- SDGs活動を経営の中核課題と位置づけ、グループ全体で地域貢献活動を推進

エリア	活動
愛知	子ども食堂「つなぐ子ども未来」への支援 (①) ・障がい者就労施設で収穫した野菜の継続寄付 ・社員の自宅にある食品・衣類の寄付
	東山動植物園への協賛 (②) ・アジアゾウ「うらら」、スマトラトラの動物スポンサー ・企業協賛イベント(スタンプラリー)開催
	名古屋市堀川に関する環境啓発活動 (③) ・「堀川クルーズ乗船体験会」(名古屋市共催)実施
	「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知」のボランティアスタッフ
東京	「子ども未来古本募金」実施による(財)あしなが育英会への寄付
東北	北上市子ども食堂のボランティアスタッフ (④)
九州	福岡市の街づくり企画「一人一花運動」への参加
その他	日本赤十字社「NHK海外たすけあい」への寄付継続
	「わーくはぴねす農園」での障がい者雇用継続
	各拠点にて地元清掃活動実施

①



②



③



④



-
- ▶ 前中期経営計画の振り返り
 - ▶ 長期経営ビジョン
 - ▶ 第11次中期経営計画

〔 長期経営ビジョン 〕

パーパス | “地域社会と地域産業の持続的成長に信頼のサプライチェーンで貢献する”

経営理念 | “常にお客様から第一に求められる企業に”

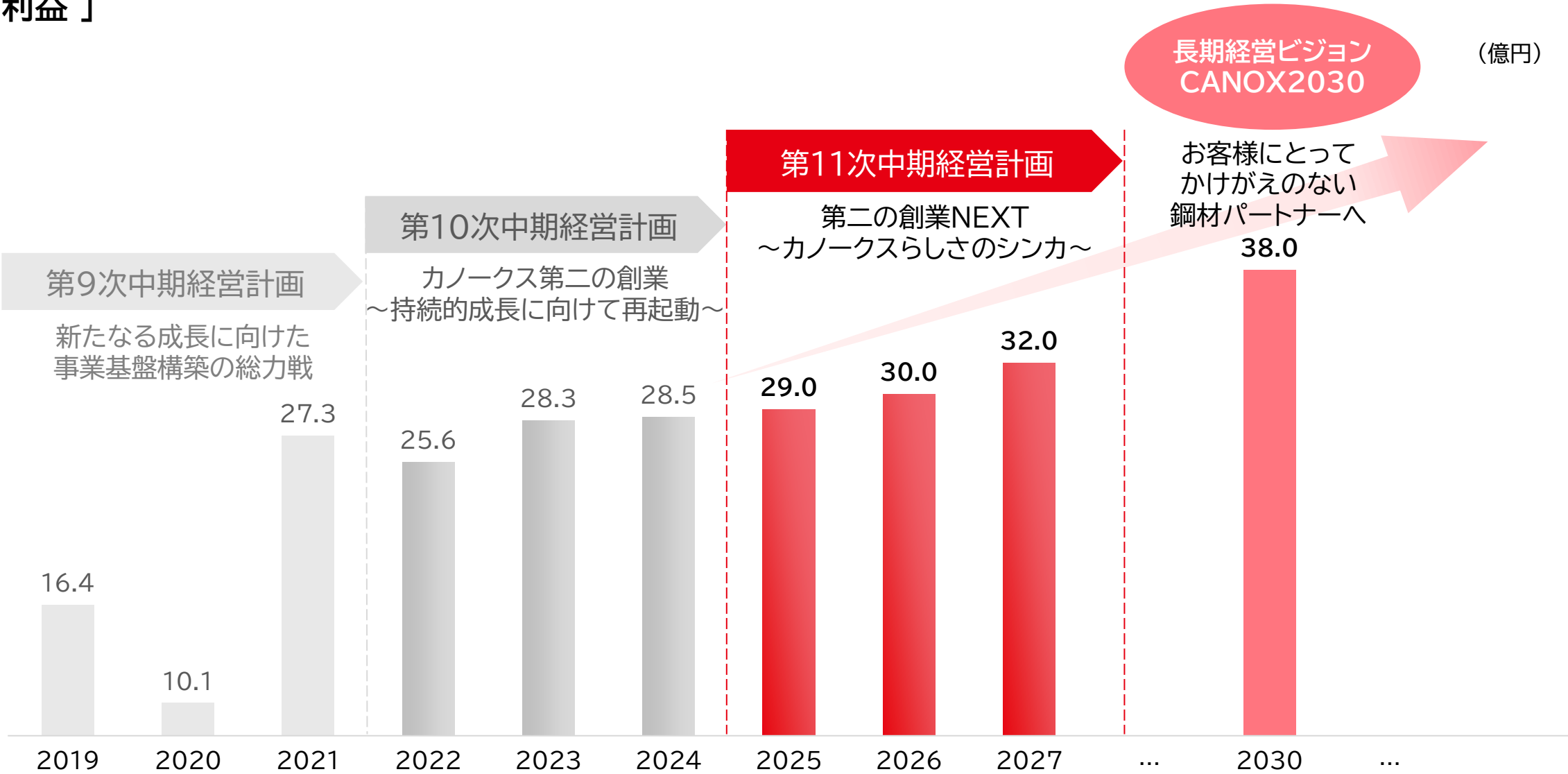


長期経営ビジョン（CANOX2030）

『 お客様にとって かけがえのない鋼材パートナーへ 』

- 顧客ニーズに応える商売のプロフェッショナルであり続けることにより、どこよりも「相談したくなる」、「頼みたくなる」、「任せたくなる」存在になる。
- 過去から蓄積された鋼材デリバリーノウハウと信頼のサプライチェーンを武器に、便利で使い勝手の良い商社機能でお客様や地域産業のものづくりを支える。

[経常利益]



〔 各種指標 〕

	指標	2024 実績	2030 目標
収益力	経常利益	28.5億円	38億円
財務指標	ROE	6.5%	8～10%
	DEレシオ	1.0倍	1.0倍
	PBR	0.5倍	1.0倍
	配当性向	46.8%	50%水準
サプライチェーン	事業拠点※	16拠点	25拠点
カーボンニュートラル	CO ₂ 排出量	768トン	726トン以下

※営業拠点+グループ会社

[ステークホルダーエンゲージメント]

- 全てのステークホルダーとの「対話」を通じてその意見やニーズを理解し、信頼関係強化と持続的貢献に努める

お客様	お客様の鋼材ニーズを常に把握し、信頼のサプライチェーンで応えることにより、共に利益成長を目指します。
社員・家族	社員を最も重要な人的資本ととらえ、働きがいのある環境を提供することで、ウェルビーイング向上に努めます。
投資家・株主	適切な情報開示とガバナンスの強化、安定配当により、長期的な関係の構築と企業価値の向上に尽力します。
調達取引先	継続的なコミュニケーションと公平公正な取引により、サプライチェーン全体での共存共栄を目指します。
地域社会	地域社会の課題や要望を理解し、地場密着型企业としてのリソースを活用して地域の発展に貢献します。
環境	事業活動の全過程において環境保護を優先し、CO2削減や環境にやさしい社会の実現に貢献します。

-
- ▶ 前中期経営計画の振り返り
 - ▶ 長期経営ビジョン
 - ▶ 第11次中期経営計画

事業環境認識

〔 事業環境 〕



当社の課題

- 顧客ニーズを最優先に考える課題解決型の事業展開
- 人的資本投資による価値創造人材の育成
- 株主や地域社会・地域産業により密着した企業活動

[テーマ]



〔 投資戦略 〕

- カノークスの未来に向けた30億円の成長投資を計画



〔 重点施策 〕



〔 人的資本経営 〕

CANOX 人的資本経営

「 未来を築く、カノークス流 人的資本経営 」

- カノークスの最大の財産は「 人材 」である。社員の能力やスキルを最大限に引き出し企業としての競争力を高めていくことが、持続的成長のためのカギとなる。
- 第11次中計を人的資本改革元年と位置付け、少数精鋭の企業だからこそできる、社員一人ひとりに向き合った「人への積極投資」を着実に実行していく。



健康経営

- ・ 健康経営戦略の策定
- ・ 健康経営指標の導入
- ・ 健康活動の取り組み強化



人材戦略

- ・ 人事制度の見直し
- ・ 全社員へのキャリアアップ支援
- ・ 人材マネジメントシステムの活用



エンゲージメント向上

- ・ 福利厚生制度の充実
- ・ 働きやすい職場環境の追求
- ・ ワークライフバランスの推進

重点施策：人的資本経営の確立



● 主な取り組み



健康経営

健康経営戦略の策定

- ・ 健康経営推進体制の再構築
- ・ 健康経営戦略マップの策定

健康経営指標の導入

- ・ 各指標の測定・可視化
- ・ 指標改善への取り組み

健康活動の取り組み強化

- ・ 健康応援アプリの導入
- ・ 健診項目の充実



人材戦略

人事制度の見直し

- ・ 人材価値を高める人事制度
- ・ 人材育成に繋がる評価制度

全社員へのキャリアアップ支援

- ・ 自己啓発支援のアップグレード
- ・ 女性の職域拡大や育成支援

人材マネジメントシステムの活用

- ・ 人事データ活用による可視化
- ・ スキルマップ構築による人材育成



エンゲージメント向上

福利厚生制度の充実

- ・ 利便性の高い福利厚生の整備
- ・ 会員制リゾートホテルの導入

働きやすい職場環境の追求

- ・ 健康的に働ける環境づくり
- ・ 本社リニューアル計画の推進

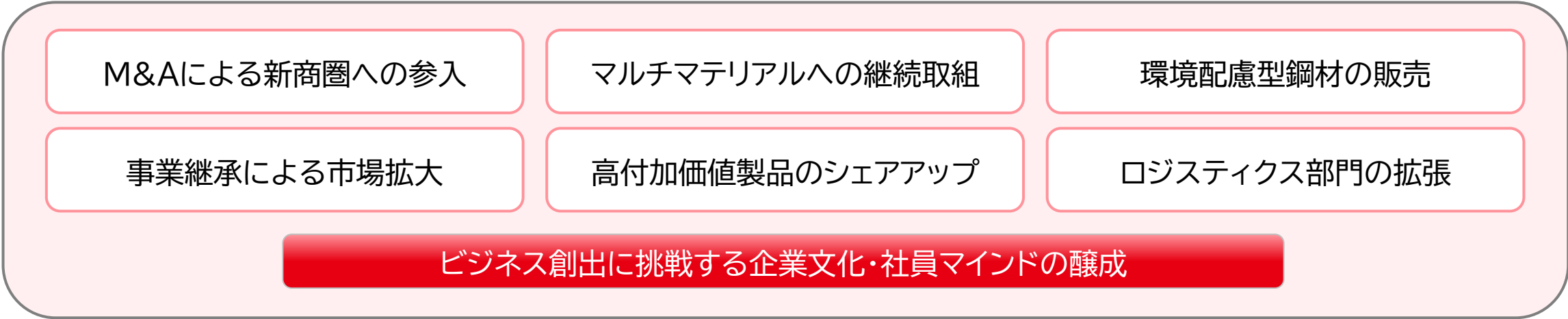
ワークライフバランスの推進

- ・ 男性育休取得率の向上
- ・ 労働時間の削減(DX推進)

重点施策：【 進化 】 事業領域の拡大



〔 新分野への挑戦 〕



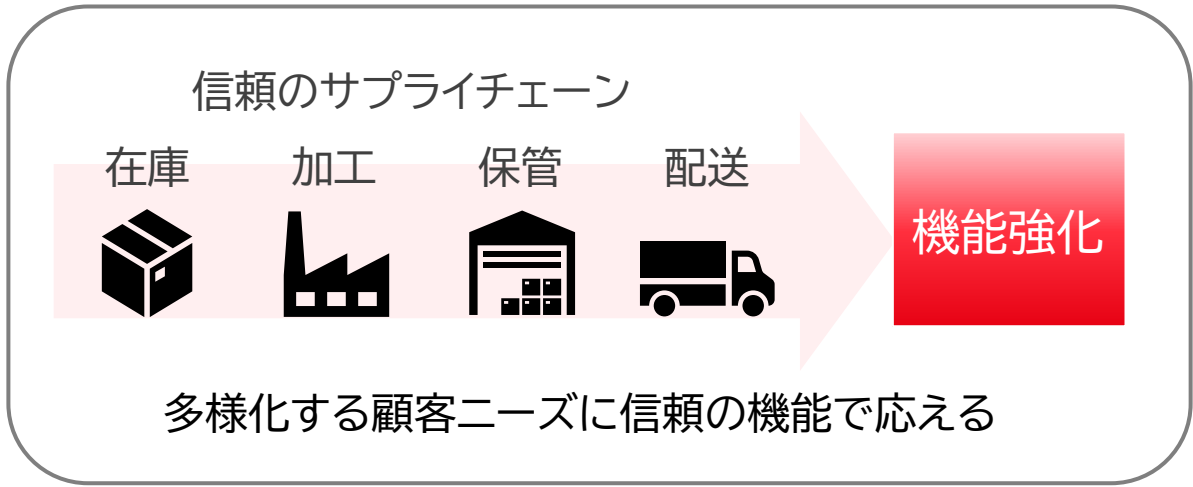
〔 部門戦略 〕

- 自動車部門** ・ M&A・事業継承による新規サプライチェーン参入 ・ 自動車業界向け新物流サービス
- 住宅設備部門** ・ 川下加工領域への進出 ・ 顧客の高機能・脱炭素ニーズへの対応
- 建材部門** ・ 土木向け鋼材・製品販売への進出 ・ 鉄骨構造加工参入による建築向け販売拡大

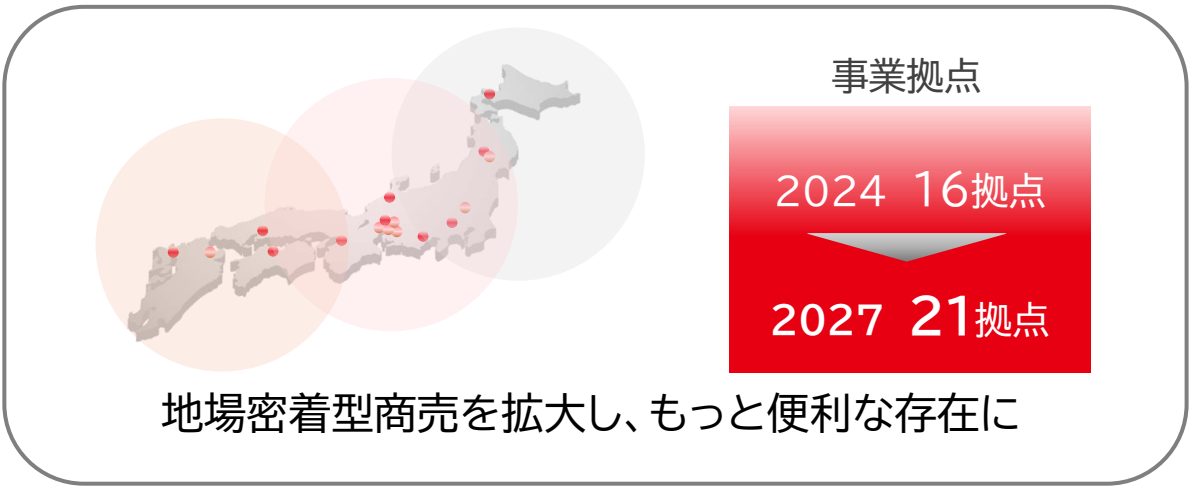
- 多角的な視点を持ち、新しいビジネスモデルに積極的に挑戦していく

重点施策：【 深化 】 顧客対応力の強化

〔 サプライチェーン機能の強化 〕



〔 国内鋼材販売ネットワークの強化 〕



〔 部門戦略 〕

- 自動車部門**
 - ・ 鋼管サプライチェーン拡大に向けた加工機能増強
 - ・ ロジスティクス事業のエリア拡大
- 住宅設備部門**
 - ・ 鋼板加工ラインナップの拡充
 - ・ 拠点間連携によるデリバリー対応力強化
- 建材部門**
 - ・ 建材販売拠点の増設および建材総合拠点の再構築
 - ・ 建築専門人材の育成

- マーケットインの発想で顧客ニーズを先行的に見極め、あらゆる機能で答え応じる

重点施策：【新加】DX推進



〔デジタル化投資の促進〕

● 基幹システムのレベルアップ



「財務・管理会計システム」の刷新

- ・ 予算・実績データの更なる共有化・可視化。
- ・ データ連携による分析力強化。
- ・ 入力・集計作業自動化による業務フロー改善。



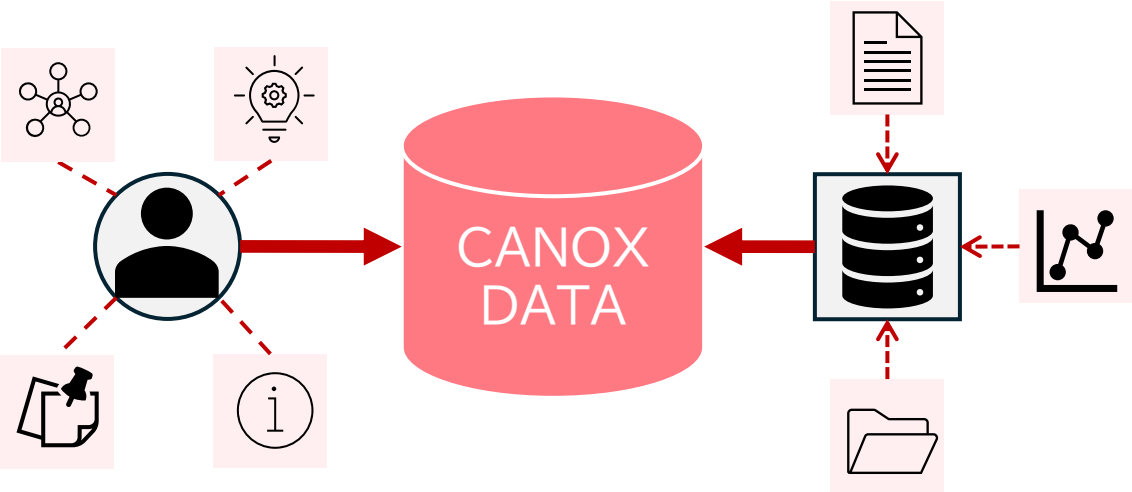
「生産管理システム」の本格稼働

- ・ システム予測に基づく生産最適化。
- ・ 生産性向上による労働負荷の軽減。

※導入先…カノックス鋼管東海、カノックス鋼管北上、カノックス鋼管九州

〔データ蓄積プラットフォームの構築〕

● 属人化・分散された情報を一元管理



データの収集・蓄積

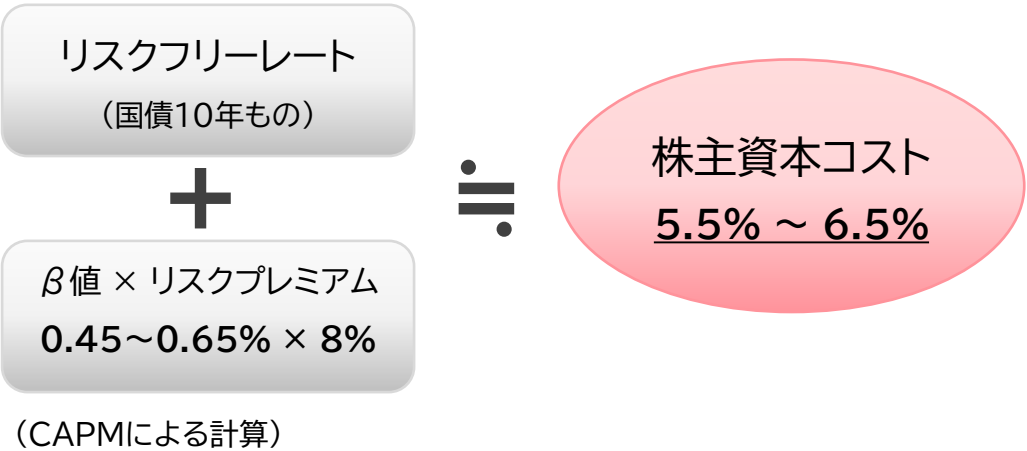
全社共有・データドリブン・AI連携

重点施策：【 真価 】 企業価値の向上

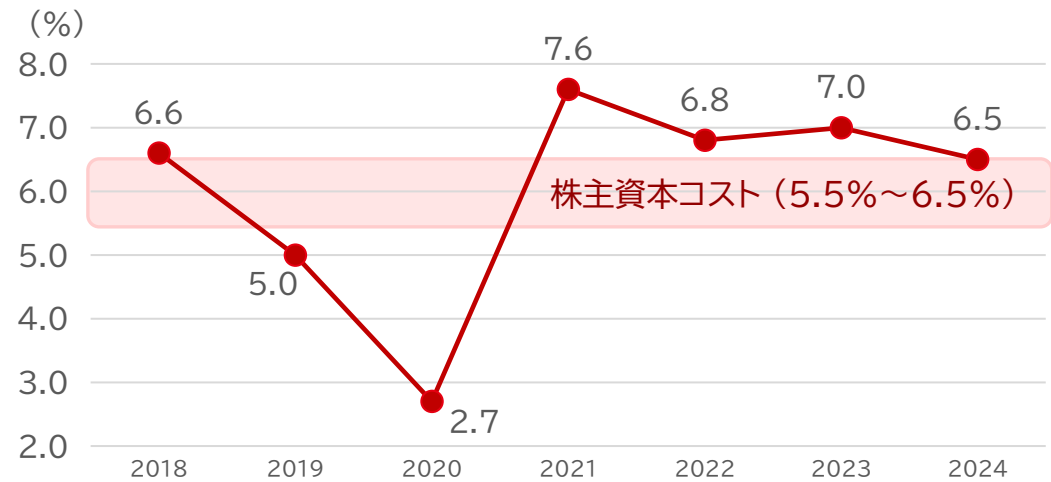


〔 資本コストや株価を意識した経営 〕

● 株主資本コスト



● ROE推移



※ 配当金・配当性向はp.6、株価・PBRはp.7を参照

● 現状分析

- 業績は堅調。2期連続で最高益を更新。
- ROEは十分な水準とは言えないものの、株主資本コストを上回りエクイティスプレッドは正。
- 株主還元は、配当金の支払いを配当性向50%をベンチマークに相応に実施。
- 株価は配当性向の引き上げ、東証スタンダード市場上場により上昇も、PBRは1倍に満たない状況。

重点施策：【 真価 】 企業価値の向上



● 実現に向けた取り組み

- ・ 収益力を上げることで、ROEの改善および資本収益力の向上を図る。
- ・ IR活動を充実させることにより、企業認知度の向上を図る。

企業価値向上に向けた取り組み	
成長戦略	・ <u>事業領域の拡大</u> … M&Aの推進等による成長投資の実施。新規分野への進出、新規商圏の獲得。 ・ <u>人的資本経営の推進</u> … 人材の育成と強化。エンゲージメントの向上を図る。
株主還元	・ <u>配当方針</u> … 配当性向50%をベンチマークとした配当の継続。 ・ <u>安定配当</u> … より安定的な配当指標を検討。
IR活動	・ <u>IR活動の推進</u> … 個人投資家向け企業説明会、機関投資家向け決算説明会の実施。 ・ <u>組織体制</u> … IR担当部署・人員の拡充
その他	・ <u>SDGs活動の推進</u> … カーボンニュートラル目標の達成。地域貢献活動の継続取組。 ・ <u>株式報酬制度</u> … 役員向け株式報酬制度および従業員向け持株会型報酬制度の導入。

重点施策：【 真価 】 企業価値の向上



〔 IR・SDGs活動の強化 〕

● IR活動の拡充

継続取組	投資家や株主との信頼関係の構築
------	-----------------



- ・ IR資料・HPの充実と分かりやすさの向上
- ・ IRイベント・説明会の積極的開催

強化課題	当社知名度向上に向けた取り組み
------	-----------------



- ・ 広告媒体を活用したメディア戦略の強化
- ・ SNSや動画を活用したIR広報

● SDGs活動の推進

継続取組	全国各拠点での地域貢献活動
------	---------------



- ・ 地域社会により密着したイベントの実施
- ・ 社員参加型活動によるSDGs意識の醸成

強化課題	事業活動を通じた社会課題の解決
------	-----------------



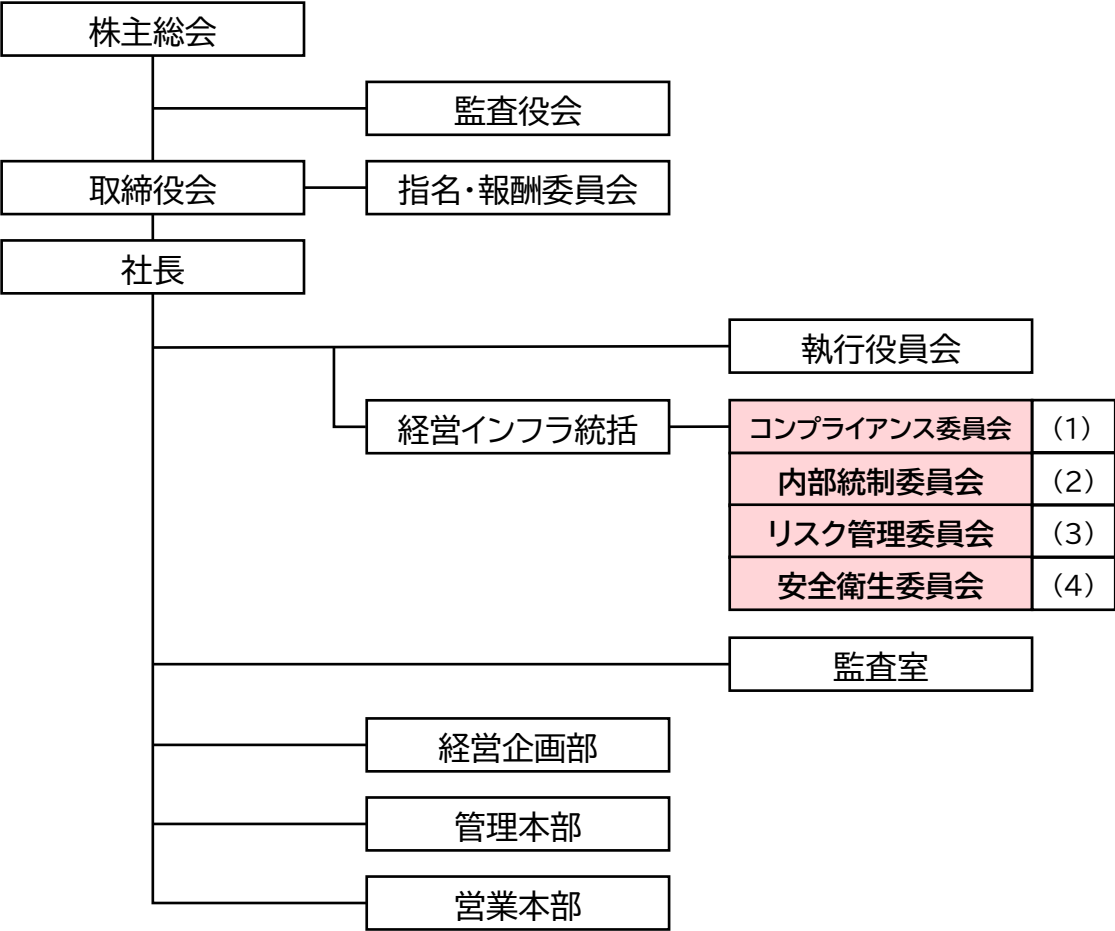
- ・ 自社事業とSDGsの関連性の整理・発信
- ・ 取引先や自治体と連携したSDGs活動

重点施策：【 真価 】 企業価値の向上



[ガバナンスの強化]

- 4委員会(コンプライアンス・内部統制・リスク管理・安全衛生)の取り組みをブラッシュアップ



(1) コンプライアンス強化

- ・ コンプライアンス研修の定例実施
- ・ 社員向けハンドブックの改訂・再配布

(2) 内部統制強化

- ・ 業務プロセス、社内ルールの再徹底

(3) リスク管理強化

- ・ サイバーセキュリティ対策の強化
- ・ リスク顕在化未然防止のための管理再徹底

(4) 安全衛生強化

- ・ 安全衛生活動のレベルアップ
- ・ グループ一丸となり社員の安全と健康を確保

[数値目標]

	第10次中期経営計画	第11次中期経営計画			第12次中期経営計画
	2024	2025	2026	2027	2030
経常利益	28.5億円	29億円	30億円	32億円	38億円
ROE	6.5%	>	>	7%	8~10%
PBR	0.5倍	>	>	0.7倍	1.0倍
事業拠点	16拠点	>	>	21拠点	25拠点
成長投資		中計期間 30億円			中計期間 50億円
CO ₂ 排出量	768㌧	>	>	747㌧	726㌧

CANOX

カノックス

鉄鋼 X 商社

鉄をつなぐ。未来を拓く。


東証スタンダード
【証券コード:8076】

本資料は現時点での情報に基づいて作成されたものであり、将来の業績や結果を保証するものではありません。計画書に記載された目標や予測は、様々なリスクや不確実性に影響される可能性があります。当社は、計画書に記載された情報の正確性や完全性を保証するものではなく、これに依存して行われた意思決定や行動について一切の責任を負いません。重要な変更事象などが発生した場合は、適時開示にてお知らせします。